

さようならも言わずに逝ってしまった貴方に

井上 美界（神奈川県藤沢市・七十六歳）

もう三年になります。

貴方は今どこにいて何をしているのでしょうか。向こうの世界に行っても皆今と同じ暮らしをしていると日頃繰り返し言っていた貴方ですから、毎日絵を描いているのでしょうか。尊敬していた先生のところにも再び弟子入りしたのでしょうか。

音楽はどうですか。貴方の残っていたオーディオは私にはなかなか手がこわいです。点検に来てもらった業者の方は、日本に何台しかないと自慢していたスピーカーを入手したくて、うずうずしている感じでした。あんなに大きなものが二台も一ぺんになくなってしまったら、ヤぞかしガランとして淋しくなることでしょう。それ以上に貴方の気配がなくなりそうで、それだけは嫌です。大丈夫、貴方のオーディオルームはそのままです。毎朝貴方の魂とも言えるアルゼンチン・タンゴを聴いています。真空管がデリケートで悪戦苦闘中ではありますが。

それにしても、貴方は何と沢山の宝物を持った方だったのでしょ
う。夥^{おびただ}しい数のレコード、CDそしてテープ、いろいろな楽器等々。

楽器も使わなければダメになっていくでしょうから、四台もあるバンドネオンは誰かに使ってもらいましょうか。今貴方がここにいて、いろいろな相談にのってもらえたら、どんなにかいいだろうと思います。

貴方に会いたい。でもお迎えに来るのはもうしばらく待ってくださいね。片づけなければならぬことがいっぱいあるのです。その時になったら私からお知らせしますね。紫の雲に乗って阿弥陀様の後から現われてください。その日まで頑張ります。約束します。